

# 第3・4学年 道徳学習指導案

政友小学校3・4年 児童10名 授業者 山崎 眞 弘

## 1 総合単元名 「信じ合い支え合う」

## 2 総合単元について

現代社会では、隣同士であっても誰が住んでいるのか分からなかったり、近所同士の付き合いがなくなってきたりと人間関係が希薄になってきている。小学校中学年の子どもたちは、友人関係も広がり、集団で遊ぶ機会が多くなる反面、気の合う者同士で仲間を作る傾向も強くなっていく。そこで、友達やまわりの人々を表面的に見るのではなく、より深く、広く見ることのできる目を養い、互いのよさを見つめ、助け合おうとする心情を育てることが求められる。そして、人はともに支え合って生きているということを、今一度子どもたちに認識させる必要がある。

4月に10人の子どもたちに出会った。どの子も素直で何事にも前向きに取り組む子どもたちである。昨年度までは単式学級であったが、今年度から3年生7名・4年生3名の複式学級になった。4月当初はとまどいもあったが、10人は男女を問わず仲良く生活している。ただ、全校児童26名という少人数で生活しているため、友達に対する見方が固定化されて、友達のよさに気付くことやお互いが支え合っていると感ずることに乏しい面がある。そこで、友達一人一人のよさを再認識させ、自分がまわりに支えられていることに気付かせる1年にしたいと考えた。

本校の様々な行事には、地域の方々の支援がある。また小規模校の特性を生かし、全校児童と一緒に活動もできる。子どもたちもその行事を毎年とても楽しみにしている。しかし、子どもたちに「政友小学校の自慢できる場所は？」と問いかけてみると、友達がやさしい、みんな仲がよいなど学校内には目が向けられているものの、いろいろな人の支えによって成り立っているところまで目を向けることができていない。

3・4学年は総合主題を「ひろがる 政友っ子」とした。本校の子どもたちは、休み時間も学年の枠を超えて楽しく遊んでいる姿が見られる。そのよさを大切にしながら、学級・学校の友達はもちろんのこと、学校に関わってくれる方々また地域の方々にも目を向けることで人が支え合って生活していることを実感させたい。そうしたことをふまえ、各学期に1つずつの総合単元を設定した。

1学期の総合単元の主題は「みんなのために」とし、家庭、地域、学校のために働く意義を理解し、自らも進んで役に立とうとする態度を養った。

2学期の総合単元の主題は「信じ合い支え合う」とした。本校の1番のよさは、地域の方々の支えである。そのよさを子どもたちに再認識させ、人は自分一人で生きていくのではなく、多くの人々が支え合い協力して生きていることに気付き、互いに信頼し合って助け合っていこうとする態度を養いたいと考え、本単元を設定した。

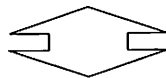
3学期の総合単元の主題は「生きるってすばらしい」とし、生命のかけがえのなさを理解し、生命あるものが共に生きていることのすばらしさを感じ取り、自他の生命を尊重していこうとする態度を養いたい。

### 3 単元構想表

**信じ合い支え合う**

人は自分一人で生きているのではなく、多くの人々が支え合い協力して生きていることに気づき、互いに信頼し合って助け合っていこうとする態度を養う。

<b>学級活動</b> 政友小学校の自慢 やさしい友達がいるよ。	<b>体 育</b> リレー ポートボール チームで協力して楽しいゲームにしよう。	<b>音 楽</b> 心を伝えよう 友達と協力していい発表をしよう。	<b>学校行事</b> グラウンドゴルフ大会 地域の人々の協力で楽しい会ができていますよ。	
↓	↓	↓	↓	
	11月6日	11月13日	11月16日（本時）	11月22日
主 題	よく考えて	自分の学校のよさ	みんなに支えられて	わたしたちのふるさと
資 料 名	同じ仲間だから	アルバムの中の学校	水泳練習	ふるさといいとこさがし
出 典	県副読本4年	東京書籍4年	自作	東京書籍3年
内 容 項 目	2-(3) 信頼友情	4-(4) 愛校心	2-(4) 尊敬感謝	4-(5) 郷土愛
ね ら い	学級が自分たちのものであるという自覚をもち、みんなで協力し合って楽しい学級にしようとする心情を育てる。	自分たちの学校に対して誇りをもち、学級・学校を愛する心情を育てる。	多くの人々に支えられて生活していることに気づき、それらの人々に対し、尊敬し感謝しようとする態度を養う。	地域のよさを発見し、郷土を大切にしようとする態度を養う。
心のノート	P44～P45	P82～P83		P88～P89



総合的な学習の時間	・いろいろなことを知っていてすごいなあ。 ・いろいろな苦勞があるんだなあ。
「名人にチャレンジ」	

常時活動	スピーチ（朝の会）、学級の係活動、感謝の気持ちを伝えよう
------	------------------------------

## 4 本時の学習

(1) 主 題 名 みんなに支えられて

(2) 主題設定の理由

<ねらいとする価値について>

2 - (4)	生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。
---------	-----------------------------------

人間はだれしも、自分一人では生きていけない存在である。したがって、日々の生活は必ず直接的・間接的な他者との助け合い、支え合いの中で成り立っている。子どもたちも日々、友達・父母・祖父母・先生・地域の人々に世話になったり、支えられたりして生活している。政友小学校は特に地域の方々が様々な場面で子どもたちのために協力してくれている。政友小学校の学校行事は地域の方々の協力なしには成り立たないといっても過言ではない。そこで来年または再来年から高学年の仲間入りするこの時期に地域の方々への感謝の念を育て、多くの人々と助け合い生きていこうとする態度を養いたい。

<子どもの実態>

本学級の児童は素直で男女の仲もいい。「学校が好きですか。」という問いかけに対してすべての児童が好きだと答えた。その理由については、友達がやさしい、友達同士仲がいいなど、ほとんどが学校の内側に目が向けられている。また、たくさんの行事が楽しいと答えた児童も、そこに関わっている人々にはあまり目が向いていない。

入学時から様々な行事に地域の方々に関わってくれることが当然となり、感謝の気持ちをもつまでに至っていない面がある。これまでは、常時指導として行事が終わるたびにお礼状を書いたり、関わってくれた方々の見えない苦勞を話すことで感謝の気持ちをもたせるようにしてきた。

さらに本時では、地域の方が登場する自作資料を学習させることで、尊敬し感謝する態度を養いたい。

<資料について> 資料名「水泳練習」(自作)

やすおは毎日行われる水泳練習に最初は意欲的に取り組んでいたが、記録が伸びないためだんだんとやる気をなくしていく。そんなとき卒業生で水泳特別練習を指導してくれているSさんに出会う。Sさんと話をする中で、Sさんの思いにふれ、やる気を取り戻していく。本資料を通して、やすおの気持ちの変化に共感させながら、学校にいろいろな形で協力してくれる方々には、それぞれの思いがあること、またその方々の思いにふれることで、心から尊敬・感謝し自分はどうあるべきかを考えさせたい。

(3) ね ら い

多くの人々に支えられて生活していることに気付き、尊敬し感謝しようとする態度を養う。

## (4) 展 開

□指導上の留意点 ●評価

学 習 活 動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点と評価
1 夏の水泳練習についての感想を発表する。	<p>○どんなことを思いながら水泳練習していましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムが縮まってうれしかった。</li> <li>・練習が厳しかった。</li> </ul>	<p>□ビデオを見せながら夏の水泳練習を想起させる。</p>
<p>2 資料を読んでやすおの気持ちや考えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を話し合う</li> <li>・タイムがあがらないとき</li> <li>・Sさんの話を聞いてはずかしくなったとき</li> <li>・水泳練習がまち遠しくなったとき</li> </ul>	<p>○「水泳練習」を読んで、どんな感想もちましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sさんはすごい。</li> <li>・やすおがやる気になってよかった。</li> </ul> <p>○いくら練習をしてもタイムがあがらないやすおの気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ厳しい練習をするんだろう。</li> <li>・いくらがんばっても記録は伸びないよ。</li> </ul> <p>○Sさんの話を聞いてどうして恥ずかしくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sさんは、がんばっているのに自分がかんばれていない。</li> <li>・教えてくれるSさんや先生の気持ちをわかっていなかった。</li> </ul> <p>○なぜ、やすおは、水泳練習がまち遠しくなったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えてくれる人へありがとうの気持ちを込めてがんばりたい。</li> <li>・Sさんと一緒にがんばりたい。</li> <li>・タイムが上がらなくても、自分たちを支えてくれる人の気持ちに応じて諦めずがんばりたい。</li> </ul>	<p>□初発の感想を発表させることにより、やすおに共感させたり、Sさんの思いに気付かせたりする。</p> <p>□再現劇をすることで、自分自身に負けそうなやすおの気持ちを捉えさせる。</p> <p>□Sさんとこれまでの自分を対比的に捉えさせることで、反省するやすおの気持ちを共感的につかませる。</p> <p>●お世話になっているSさんに感謝の気持ちをもつことができたか。</p> <p>□感謝の気持ちが、やる気を引き出したことを捉えるようにする。</p>
3 生活を振り返る。	<p>○これまでみなさんは、お世話してくれた人に「ありがとう」の気持ちをもつことができましたか。</p>	<p>□学校行事等でお世話になった方々の写真を貼るなどして想起しやすくする。</p> <p>●学習したことから日常生活を振り返り、感謝しようとする態度を養えたか。</p>
4 説話を聞く。	<p>○Sさんからのメッセージを聞く。</p>	<p>□ビデオを見て、実践への意欲付けをはかる。</p>